

JPAパラグライダー
N2リーグ／チャレンジリーグ
2012総括

‘13年4月1日(月)

JPA競技事業部 競技委員

鈴木恵司

1. はじめに

‘13年3月開催された『COOクロカンカップ』にてJPAチャレンジリーグの’13年シーズンが始まりました。N2リーグは6月の『梶池ジャパンカップ』から開始となります。

— 昨年の ‘11年シーズンから始まった

「チャレンジ・ザ・ナショナルリーグ」のN2リーグ

「スタート・ザ・コンペティション」のチャレンジリーグ

を目指す両リーグですが、‘12シーズンは、天候に恵まれ、タスク成立確率の高かった一年でした。今シーズンも成立確率が高くなることを願ってやみません。

本レポートは、‘12年シーズンの競技結果と、選手の皆さんの活躍を、いろいろなデータで振り返ってみようとするものです。こんな目線もあることを意識してもらうことで選手の皆さんのモチベーション向上に少しでも繋がればうれしいと思っています。

2. '12年シーズンのトピックス

➤ 大会成立確率が大幅向上（'11年が悪すぎた？）

N2リーグ全戦（6戦）成立。

チャレンジリーグも11戦中、9戦成立。（しらか、宇都宮は残念でした。）

➤ N2リーグにはシリアルコンペ機が登場

Boomerang-X、Enzo、Ice Peak6はやっぱり良く飛んだかな。

➤ ファイナルイベントへの招待制を導入

ちょっと宣伝不足の感あり。招待枠を狙って勝山大会で好成績を狙うといったシーンを想定していたのですが...

➤ 大会開催数を少し減らしました。

N2リーグは9戦（'11年シーズン）から6戦に、

チャレンジリーグも当初は11戦（'11年シーズン）から9戦に、

但し、チャレンジ宇都宮、COO七タカップの設定で結局11戦維持となっています。

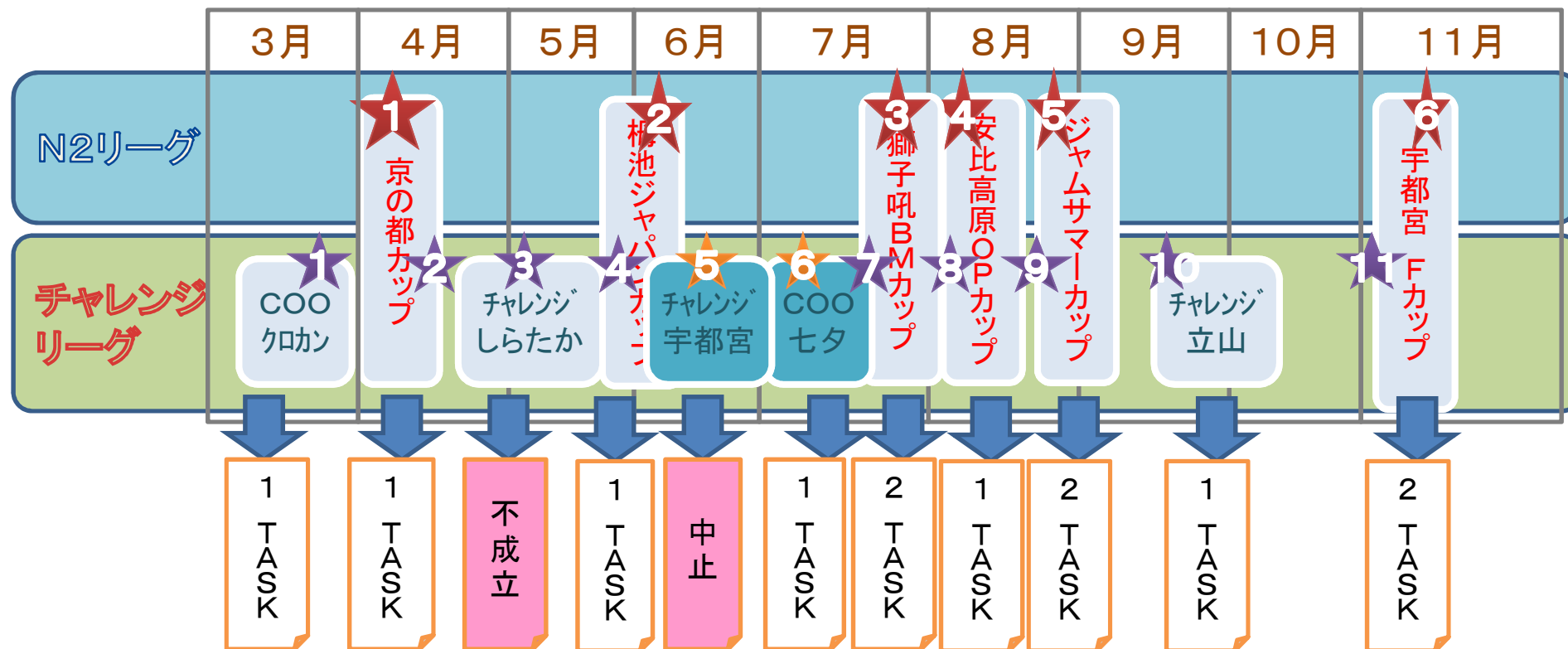
➤ チャレンジリーグ単独開催が始まりました。

チャレンジ宇都宮、COO七タカップも当日のスクール運営は維持しつつチャレンジリーグ大会のコンパクトさを活かした運営方法を試みました。チャレンジリーグの今後の進展を期待させるものとなりました。

3. 全大会総括

年間登録者数	シーズン	'12	'11	'10	'09
	N2リーグ	97名	116名	127名	203名
	チャレンジリーグ	52名	58名	63名	

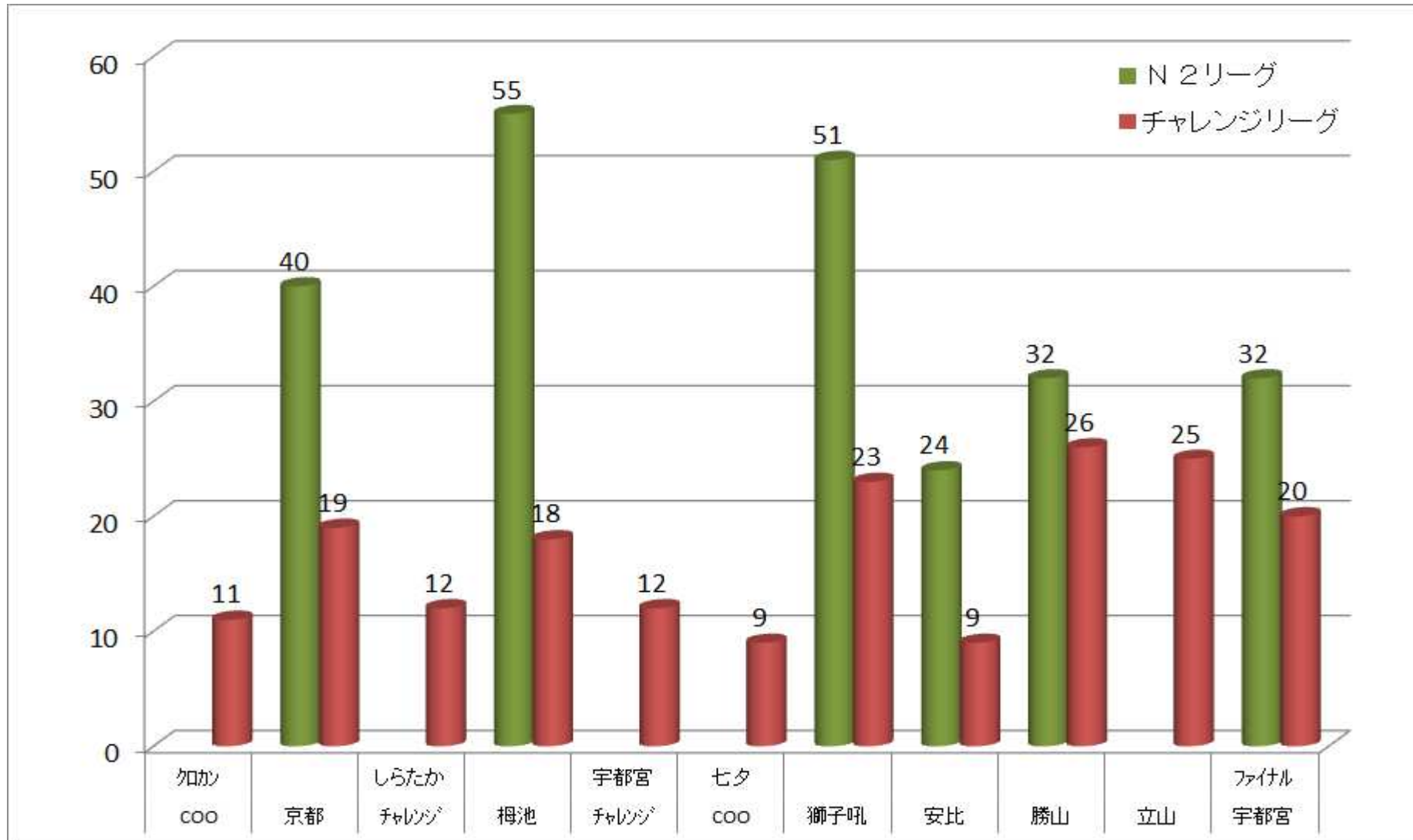
年間登録選手数は漸減しています。リーマンショックやら、東日本大震災などの影響は少なくないかと思えます。皆さんの参加をお待ちしています。



残念ながら2大会でタスク成立がなかったのですが、それ以外はいわゆる大会成立となっています。良い一年だったと言って良いのではないかと思います。

4. 大会ごとのエントリー数

N2リーグでは梶池、獅子吼、京都が、チャレンジリーグでは勝山、獅子吼、宇都宮が人気となっています。それぞれの大会歴史の中でのタスク成立性の影響でしょうか。



5. 登録選手数の地域性

